



1991年1月、私は、小渕恵三衆議院議員(当時)の中米訪問に随行しました。「平成」の元号が小渕官房長官(当時)によって発表されて間もない頃です。途中から千鶴子夫人、長女の暁子さんも加わりました。まだ若手事務官であった私はとても緊張しましたが、貴重な経験でした。

それから28年以上を経た去る9月24日、ハバナ市内のユネスコ・キューバ国内委員会事務所において、ユネスコ・小渕恵三フェローシップ15周期の記念行事が開催されました。この行事には、日本から千鶴子夫人と長女の暁子さんが出席されました。

このフェローシップは、若い世代の育成を重視した小渕総理大臣の名前を冠して、世界の若手研究者をサポートするためにユネスコの日本信託基金を基に設けられたものです。これまで合計で約300人の若手研究者、キューバからも10名が奨学金を得て研究活動を進めて来ました。キューバのフェローの数は世界で2番目に多いものです。

今年の5月に、ユネスコ・キューバ国内委員会委員長の方が大使館へ相談に来ました。パリのユネスコ本部から、このフェローシップのために日本大使館と相談して行事を行うようにとの連絡が届いた、とのことでした。そこで、私から故小渕総理のご家族にご相談し、キューバにお越しの上で、9月24日の行事にご出席頂いたのです。

記念行事、そして続く大使公邸での夕食会では小渕夫人、暁子さんとキューバのフェローたちとの間で和やかな雰囲気の中に親しくお話がなされました。また、フェローたち同士が初めて知り合う機会ともなりました。

その間、行事会場、公邸には、故小渕総理のお写真を置かせて頂いたのです。

令和元年10月

駐キューバ日本国大使 藤村和広



EMBAJADA
del JAPÓN
CUBA